

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族のでいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



2021.6.7-13

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

7:1 私の神、主よ。私はあなたのもとに身を避けました。どうか、追い迫るすべての者から私を救ってください。私を救い出してください。

7:2 救い出す者がいない間に彼らが獅子のように、私のたましいを引き裂き、さらって行くことがないように。

7:3 私の神、主よ。もし私がこのことをしたのなら、もし私の手に不正があるのなら、

7:4 もし私が親しい友に悪い仕打ちをしたのなら、また、私に敵対する者から、ゆえなく奪ったのなら、

7:5 敵に私を追わせ、追いつかせ、私のいのちを地に踏みにじらせてください。私のたましいをちりの中にとどまらせてください。セラ

7:6 主よ。御怒りをもって立ち上がってください。私の敵の激しい怒りに向かって立ち、私のために目をさましてください。あなたはさばきを定められました。

7:7 国民のつどいをあなたの回りに集め、その上の高いみくらにお帰りください。

7:8 主は諸国の民をさばかれる。主よ。私の義と、私にある誠実とにしたがって、私を弁護してください。

7:9 どうか、悪者の悪があとを絶ち、あなたが正しい者を堅く立てられますように。正しい神は、心と思いを調べられます。

7:10 私の盾は神にあり、神は心の直ぐな人を救われる。

7:11 神は正しい審判者、日々、怒る神。

7:12 悔い改めない者には剣をとぎ、弓を張って、ねらいを定め、

7:13 その者に向かって、死の武器を構え、矢を燃える矢とされる。

7:14 見よ。彼は悪意を宿し、害毒をはらみ、偽りを生む。

7:15 彼は穴を掘って、それを深くし、おのれの作った穴に落ち込む。

7:16 その害毒は、おのれのかしらに戻り、その暴虐は、おのれの脳天に下る。

7:17 その義にふさわしく、主を、私はほめたたえよう。いと高さ方、主の御名をほめ歌おう。

ダビデが主に助けを求めますが、「もし私の手に不正があるのなら…私のいのちを地に踏みにじらせてください。」という宣言が特徴的です。また「どうか、悪者の悪があとを絶ち、あなたが正しい者を堅く立てられますように。」と、主の正義を求めています。

主に助けを求めるとき、ただ自分が助かればそれでいいという求め方は、スリスチヤンの姿ではありません。助けくださる方は聖なる方ですから、自分にその資格があるのだろうかを自省するでしょう。

ダビデのように主の義を求めつつ、願いましょう。もしも自分に非があるなら、主の前で悔い改めて、その上であわれみを求めつつ祈りましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 8日 火曜

### 詩篇

8 指揮者のために。ギテトの調べに合わせて。ダビデの賛歌

8:1 私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。あなたはご栄光を天に置かれました。

8:2 あなたは幼子と乳飲み子たちの口によって、力を打ち建てられました。それは、あなたに敵対する者のため、敵と復讐する者とをしずめるためでした。

8:3 あなたの指のわざである天を見、あなたが整えられた月や星を見ますのに、

8:4 人とは、何者なのでしょう。あなたがこれを心に留められるとは。人の子とは、何者なのでしょう。あなたがこれを顧みられるとは。

8:5 あなたは、人を、神よりいっくらか劣るものとし、これに栄光と誉れの冠をかぶらせました。

8:6 あなたの御手の多くのわざを人に治めさせ、万物を彼の足の下に置かれました。

8:7 すべて、羊も牛も、また、野の獣も、

8:8 空の鳥、海の魚、海路を通うものも。

8:9 私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。

波乱万丈で苦しみの多かったダビデも、時には天地を見つめて主の栄光を感じました。私たちも問題ばかり見ないで、そのような偉大な神に心を向ける必要があります。「人とは何ものなのでしょう。」と思えるとき、問題さえも小さく感じるものです。そして神の偉大さを実感しつつ、その神への信頼がますます大きくなります。

しかもその神は「幼子と乳飲み子」のような弱い存在をいつくしみ、さらには権威さえ与えてくださ



るのです。自分が弱く小さな者と感じるみじめな時も、主は私を尊重してくださるといふ、この愛を受け取りましょう。

さらに「あなたの御手の多くのわざを人に治めさせ」とあるように、このような主の使命に生きる者でありましょう。そしてますます「私たちの主、主よ。あなたの御名は全地にわたり、なんと力強いことでしょう。」という体験をすることになるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 9日 水曜

### 詩篇



9 指揮者のために。「ムテ・ラベン」の調べに合わせて。ダビデの賛歌

9:1 私は心を尽くして主に感謝します。あなたの奇しいわざを余すことなく語りあげます。

9:2 私は、あなたを喜び、誇ります。いと高き方よ。あなたの御名をほめ歌います。

9:3 私の敵は退くとき、つまずき、あなたの前で、ついえ去ります。

9:4 あなたが私の正しい訴えを支持し、義の審判者として王座に着かれるからです。

9:5 あなたは国々をお叱りになり、悪者を滅ぼし、彼らの名を、とこしえに、消し去られました。

9:6 敵は、絶え果てて永遠の廃墟。あなたが根こぎにされた町々、その記憶さえ、消えうせました。

9:7 しかし、主はとこしえに御座に着き、さばきのためにご自身の王座を堅く立てられた。

9:8 主は義によって世界をさばき、公正をもって国民にさばきを行なわれる。

9:9 主はしいたげられた者のとりで、苦しみのときのとりで。

9:10 御名を知る者はあなたに抛り頼みます。主よ。あなたはあなたを尋ね求める者をお見捨てになりませんでした。

敵国との戦いに勝った後にダビデが感謝と賛美の思いで歌ったものと思われます。ダビデには他にも多くの戦いと患難がありましたが、このようにその都度最大限の感謝をささげることが大切です。

神様の「奇しいわざ」、「義の審判者」である信頼、「とこしえに御座に着き」たもう權威をほめたたえましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



9:11 主にほめ歌を歌え、シオンに住まうその方に。国々の民にみわざを告げ知らせよ。  
9:12 血に報いる方は、彼らを心に留め、貧しい者の叫びをお忘れにならない。  
9:13 主よ。私をあわれんでください。私を憎む者から来る私の悩みを見てください。主は死の門から私を引き上げてくださる。  
9:14 私は、あなたのすべての誉れを語り告げるために、シオンの娘の門で、あなたの救いに歓声をあげましょう。  
9:15 国々はおのれの作った穴に陥り、おのれの隠した網に、わが足をとられる。  
9:16 主はご自身を知らせ、さばきを行なわれた。悪者はおのれの手で作ったわなにかかった。ヒガヨン セラ  
9:17 悪者どもは、よみに帰って行く。神を忘れたあらゆる国々も。  
9:18 貧しい者は決して忘れられない。悩む者の望みは、いつまでもなくなるならない。  
9:19 主よ。立ち上がってください。人間が勝ち誇らないために。国々が御前で、さばかれるために。  
9:20 主よ。彼らに恐れを起こさせてください。おのれが、ただ、人間にすぎないことを、国々に思い知らせてください。セラ

「貧しい者の叫びをお忘れにならない」慈愛に感謝しつつ依り頼みましょう。

自分を、また自分の人生を肯定的に見るところから、幸いが始まります。その肯定的価値観は、神様をどう見るかにかかっています。神様が人生を導かれるからです。何よりも自分は神様によって造られたからです。

神様をほめたたえて信頼するところから、すべてを始めてゆきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



10:1 主よ。なぜ、あなたは遠く離れてお立ちなのですか。苦しみのときに、なぜ、身を隠されるのですか。

10:2 悪者は高ぶって、悩む人に追い迫ります。彼らが、おのれの設けたたくらみにみずから捕えられますように。

10:3 悪者はおのれの心の欲望を誇り、貪欲な者は、主をのろい、また、侮る。

10:4 悪者は高慢を顔に表わして、神を尋ね求めない。その思いは「神はいない。」の一言に尽きる。

10:5 彼の道はいつも栄え、あなたのさばきは高く、彼の目に、はいらない。敵という敵を、彼は吹き飛ばす。

10:6 彼は心の中で言う。「私はゆるぐことがなく、代々にわたって、わざわざに会わない。」

10:7 彼の口は、のろいと欺きとしいたげに満ち、彼の舌の裏には害毒と悪意がある。

10:8 彼は村はずれの待ち伏せ場にすわり、隠れた所で、罪のない人を殺す。彼の目は不幸な人をねらっている。

10:9 彼は茂みの中の獅子のように隠れ場で待ち伏せている。彼は悩む人を捕えようと待ち伏せる。悩む人を、その網にかけて捕えてしまう。

10:10 不幸な人は、強い者によって砕かれ、うずくまり、倒れる。

10:11 彼は心の中で言う。「神は忘れている。顔を隠している。彼は決して見はしないのだ。」

10:12 主よ。立ち上がってください。神よ。御手を上げてください。どうか、貧しい者を、

忘れないでください。

10:13 なぜ、悪者は、神を侮るのでしょうか。彼は心の中で、あなたは追い求めないと言っています。

10:14 あなたは、見ておられました。害毒と苦痛を。彼らを御手の中に収めるためにじっと見つめておられました。不幸な人は、あなたに身をゆだねます。あなたはみなしごを助ける方でした。

10:15 悪者と、よこしまな者の腕を折り、その悪を捜し求めて一つも残らぬようにしてください。

10:16 主は世々限りなく王である。国々は、主の地から滅びうせた。

10:17 主よ。あなたは貧しい者の願いを聞いてくださいました。あなたは彼らの心を強くしてくださいます。耳を傾けて、

10:18 みなしごと、しいたげられた者をかばってくださいます。地から生まれた人間がもはや、脅かすことができないように。

神様に助けを求めています。自分を苦しめる敵はまるで勝利者のように、自分勝手が許される状態です。この世においても同じことがあるでしょう。ここではその悪は「神はいない。」という奢りから来ていると言っています。

そのような人々に私たちも苦しめられることがあります。主は悪を明かにするために、また私たちの信仰を明かにするために、しばしの間だけ悪を放置なさることがあるようです。そのときにも「あなたは、見ておられました。害毒と苦痛を。彼らを御手の中に収めるためにじっと見つめておられました。不幸な人は、あなたに身をゆだねます。あなたはみなしごを助ける方でした。」という言葉は真理です。

悪に屈することなく、主のみわざを信じて、義の勝利を手にしませう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



11:1 主に私は身を避ける。どうして、あなたたちは私のたましいに言うのか。「鳥のように、おまえたちの山に飛んで行け。」  
11:2 それ、見よ。悪者どもが弓を張り、弦に矢をつがえ、暗やみで心の直ぐな人を射ぬこうとしている。  
11:3 拠り所がこわされたら正しい者に何ができようか。」  
11:4 主は、その聖座が宮にあり、主は、その王座が天にある。その目は見通し、そのまぶたは、人の子らを調べる。  
11:5 主は正しい者と悪者を調べる。そのみこころは、暴虐を好む者を憎む。  
11:6 主は、悪者の上に網を張る。火と硫黄。燃える風が彼らの杯への分け前となろう。  
11:7 主は正しく、正義を愛される。直ぐな人は、御顔を仰ぎ見る。

苦しみが続き、解決がなかなか与えられないとき、ある人は人生から逃避して、目的もなく生きようとします。ここではダビデも、「おまえたちの山に飛んで行け。」と、世からの逃避を勧められています。さらに「拠り所がこわされたら正しい者に何ができようか。」とまで言われています。信仰とは言っても、見えるものが失われたら生きられないではないかと、よく不信仰者が言うことばでもあります。またそれが真理に思えることさえあるでしょう。

しかし私たちは、「その聖座が宮にあり、…その王座が天にある」主を信じて依り頼んでいます。死にも打ち勝った力ある全能の神が、私たち人間の知覚に納まるはずがありません。主は最善のときにさばきをなさるので、ある時には沈黙しておられるかのように見えるのです。

主を信じて、あきらめることなく、前進しましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



25:1 主はモーセに告げて仰せられた。  
 25:2 「わたしに奉納物をささげるように、イスラエル人に告げよ。すべて、心から進んでささげる人から、わたしへの奉納物を受け取らなければならない。  
 25:3 彼らから受けてよい奉納物は次のものである。金、銀、青銅、  
 25:4 青色、紫色、緋色の燃り糸、亜麻布、やぎの毛、  
 25:5 赤くなめした雄羊の皮、じゅごんの皮、アカシヤ材、  
 25:6 燈油、そそぎの油とかおりの高い香のための香料、  
 25:7 エポデや胸当てにはめ込むしめめのうや寶石。  
 25:8 彼らがわたしのために聖所を造るなら、わたしは彼らの中に住む。  
 25:9 幕屋の型と幕屋のすべての用具の型とを、わたしがあなたに示すのと全く同じように作らなければならない。  
 25:10 アカシヤ材の箱を作らなければならない。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半、高さは一キュビト半。  
 25:11 これに純金をかぶせる。それは、その内側と外側とにかぶせなければならない。その回りには金の飾り縁を作る。  
 25:12 箱のために、四つの金の環を鑄造し、それをその四隅の基部に取りつける。一方の側に二つの環を、他の側にほかの二つの環を取りつける。  
 25:13 アカシヤ材で棒を作り、それを金でかぶせる。  
 25:14 その棒は、箱をかつぐために、箱の両

側にある環に通す。  
 25:15 棒は箱の環に差し込んだままにしなければならない。抜いてはならない。  
 25:16 わたしが与えるさとしをその箱に納める。  
 25:17 また、純金の『贖いのふた』を作る。長さは二キュビト半、幅は一キュビト半。  
 25:18 槌で打って作った二つの金のケルビムを『贖いのふた』の両端に作る。  
 25:19 一つのケルブは一方の端に、他のケルブは他方の端に作る。ケルビムを『贖いのふた』の一部としてその両端に作らなければならない。  
 25:20 ケルビムは翼を上の方に伸べ広げ、その翼で『贖いのふた』をおおうようにする。互いに向かい合って、ケルビムの顔が『贖いのふた』に向かうようにしなければならない。  
 25:21 その『贖いのふた』を箱の上に載せる。箱の中には、わたしが与えるさとしを納めなければならない。  
 25:22 わたしはそこであなたと会見し、その『贖いのふた』の上から、すなわちあかしの箱の上の二つのケルビムの間から、イスラエル人について、あなたに命じることをことごとくあなたに語ろう。

神様が民とともにいてくださることを顕すのが幕屋です。それは偶像をまつる場所ではなく、来るべきキリストを表すものです。  
 その建設は「心から進んでささげる」人によって行われました。いつの時代にも神様を表すような尊い奉仕は、能力や経験よりも献身の思いによって進められるべきです。  
 材料の高価なものは神様の高貴なことを表し、香り高い香や美しいものは神様のすばらしさを表

します。箱に棒を通して持ち運べるようにするのは、神様が私たちとどこにでも共にいてくださることを表します。『贖いのふた』にケルブが翼を広げるのは、それが最も重要であるからです。それはイエス様の十字架の贖いの型なのです。  
 このように神様を分かりやすく表す必要があります。私たちも、生活において神様を表しましょう。

- ①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）
- ②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）
- ③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）
- ④この世にあって何を実践しますか？

